



はじめに

日頃から認定Ns活動へのご協力を
ありがとうございます!

今回は、褥瘡に対する診療計画書作成で
必要になる、DESIGN-Rのつけ方のポイントについて、特集します。

DESIGN-Rは、日本褥瘡学会学術委員会によって作成された褥瘡状態評価のスケールです。

最終的に2013年に改定されており、以下の2つの注釈が加わりました。

- 1) 発赤の評価について「Size:大きさ」の項目に「※3 持続する発赤の場合も皮膚損傷に準じて評価する」
- 2) ポケット全周の計測について「Pocket:ポケット」の項目に「※1 “短径”とは長径と直交する“最大径”である」

項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
Depth 深さ	創内の一番深い部分で評価し、通常に傷み、範囲が広がった場合、これを相対的深さとして評価する	0 皮膚損傷・発赤なし	1 持続する発赤	2 真皮までの損傷	3 皮下組織までの損傷	4 皮下組織を越える損傷	5 関節腔、体腔に至る損傷	6 深部組織が不可逆の場合						
Exdate 滲出液	0 なし	1 少量:毎日のドレッシング交換を要する	2 中等量:1日1回のドレッシング交換を要する	3 多量:1日2回以上のドレッシング交換を要する										
Size 大きさ	皮膚損傷範囲を測定 [長径(cm)×長径と直交する最大径(cm)]	0 皮膚損傷なし	1 4未満	2 4以上 16未満	3 16以上 36未満	4 36以上 64未満	5 64以上 100未満	6 100以上						
Inflammation/Infection 炎症/感染	0 局所の炎症徴候なし	1 局所の炎症徴候あり(創周囲の高赤、腫脹、熱感、疼痛)	2 局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)	3 局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)	4 局所の炎症徴候あり(創周囲の高赤、腫脹、熱感、疼痛)	5 局所の炎症徴候あり(創周囲の高赤、腫脹、熱感、疼痛)	6 全身的影響あり(発熱など)							
Granulation 肉芽組織	0 治療あるいは創が浅いため肉芽形成の評価ができない	1 良性肉芽が創面の90%以上を占める	2 良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める	3 肉芽組織が全く形成されていない	4 良性肉芽が、創面の10%以上50%未満を占める	5 良性肉芽が、創面の10%未満を占める	6 良性肉芽が全く形成されていない							
Necrotic tissue 壊死組織	0 壊死組織なし	1 柔らかい壊死組織あり	2 硬く厚い密着した壊死組織あり	3 柔らかい壊死組織あり	4 硬く厚い密着した壊死組織あり	5 硬く厚い密着した壊死組織あり	6 硬く厚い密着した壊死組織あり							
Pocket ポケット	0 ポケットなし	1 4未満	2 4以上 16未満	3 16以上 36未満	4 36以上 64未満	5 64以上 100未満	6 100以上							

2) ポケット全周の計測について

1) 発赤の評価について

3 大きさ・4 炎症/感染・5 肉芽組織

3 大きさ (Size) 皮膚損傷範囲における長径 (cm) × 長径と直交する最大径 (cm)



①まず創の「最長径」を探す ②同一位で計測する

4 炎症/感染 (Inflammation/Infection)

0	局所の炎症徴候なし	3	局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)
1	局所の炎症徴候あり(創周囲の高赤、腫脹、熱感、疼痛)	9	全身的影響あり(発熱など)

①「炎症」の4兆候あるか、さらに排膿(=「感染」)があるかを確認する

②「発熱」は、局所(褥瘡部)が原因のもののみ採点する

5 肉芽組織 (Granulation) ①「良性」の肉芽組織の分量で採点する

0	治療あるいは創が浅いため肉芽形成の評価ができない	4	良性肉芽が、創面の10%以上50%未満を占める
1	良性肉芽が創面の90%以上を占める	5	良性肉芽が、創面の10%未満を占める
3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める	6	良性肉芽が全く形成されていない

① 良性の肉芽組織

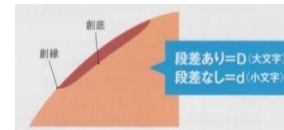
● 鮮紅色
● 適度な湿潤

② 不良な肉芽組織

● 暗赤色、あるいは白っぽいピンク色
● プロブヨと柔らかい

1 深さ・2 滲出液

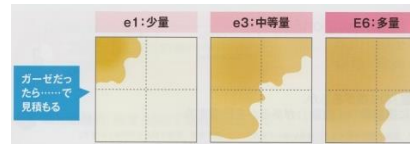
1 深さ (Depth) 段差がない場合は「d」、段差がある場合は「D」です。



0	皮膚損傷・発赤なし	3	皮下組織までの損傷
d 1	持続する発赤	D 4	皮下組織を越える損傷
2	真皮までの損傷	5	関節腔、体腔に至る損傷
		U	深さ判定が不能の場合

①まず「段差」を見わける。深さは、創内の一番深いところで判定する。

2 滲出液 (Exdate) 「1/4以下」は少量、「3/4以下」は中等量、「3/4以上」は多量。



0	なし	6	多量:1日2回以上のドレッシング交換を要する
e 1	少量:毎日のドレッシング交換を要しない		
3	中等量:1日1回のドレッシング交換を要する		

①ドレッシング材そのものではなく、「ガーゼだったらどうか」で見る

ドレッシング材の種類により吸収量が異なるため、標準化した評価をする。

②ガーゼの場合の「滲出液の範囲」で類推する

実際の交換回数ではなく、1日分の滲出液がガーゼに付着する面積で考えます。

6 壊死組織・7 ポケット

6 壊死組織 (Necrotic tissue)

n 0	壊死組織なし	N 3	柔らかい壊死組織あり
		6	硬く厚い密着した壊死組織あり

①壊死組織の「硬度」は必ず触れて確認する

硬いというイメージではなく、実際に鑷子でつまんで確認して判定する。壊死組織のタイプが混在している場合は、占める割合の多い壊死組織に判定する。

7 ポケット (Pocket)

ポケット形成範囲

a: ポケット全周と潰瘍面も含めた範囲の長径

b: aと直交するポケット全周と潰瘍面も含めた範囲の最大径

c: 潰瘍面の長径

d: cと直交する潰瘍面の最大径

ポケット全周(潰瘍面も含め) [長径 (cm) × 短径 (cm)] から潰瘍の大きさを差し引いたもので判定する

6	4未満
9	4以上 16未満
12	16以上 36未満
24	36以上

a×b-c×d